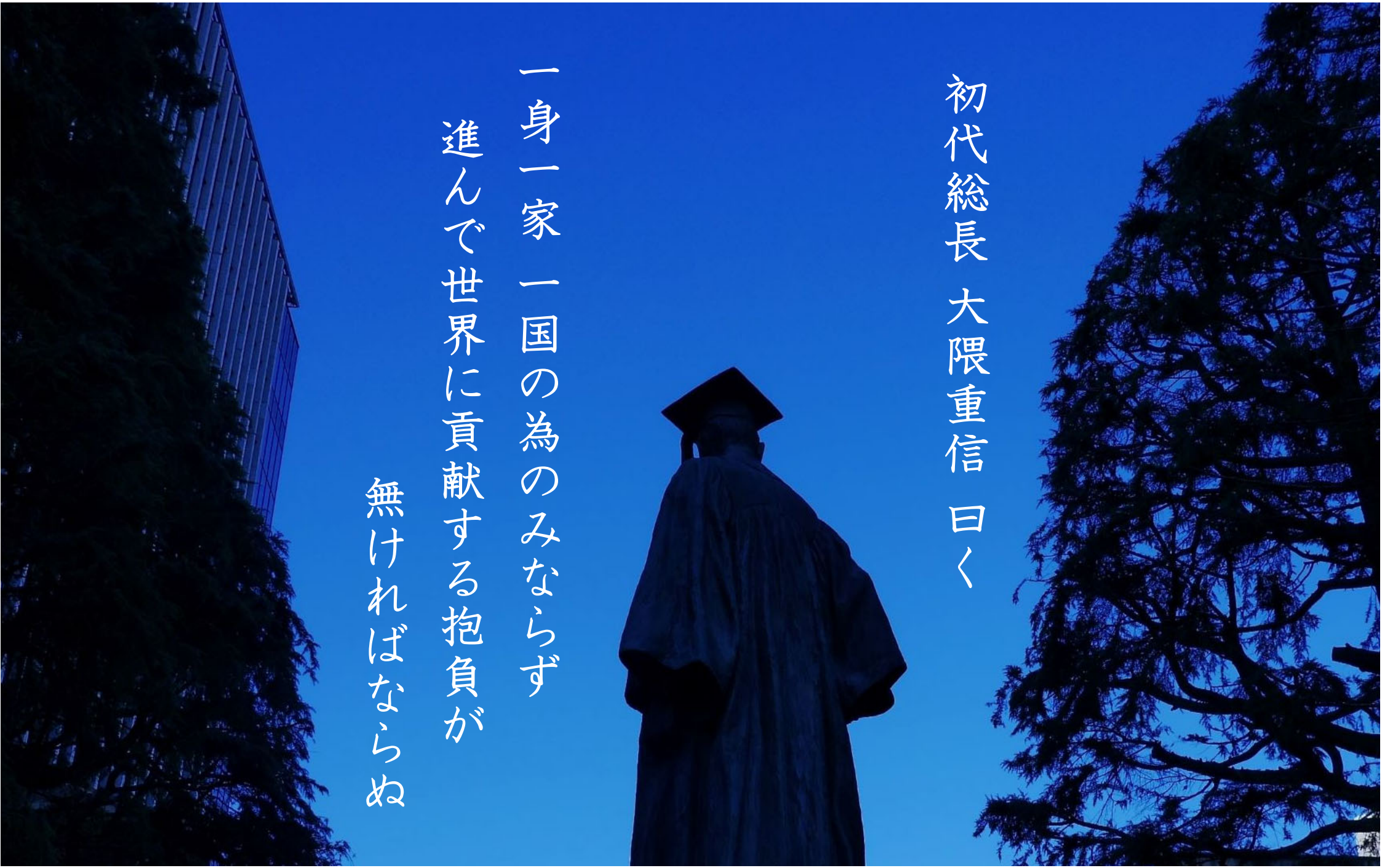
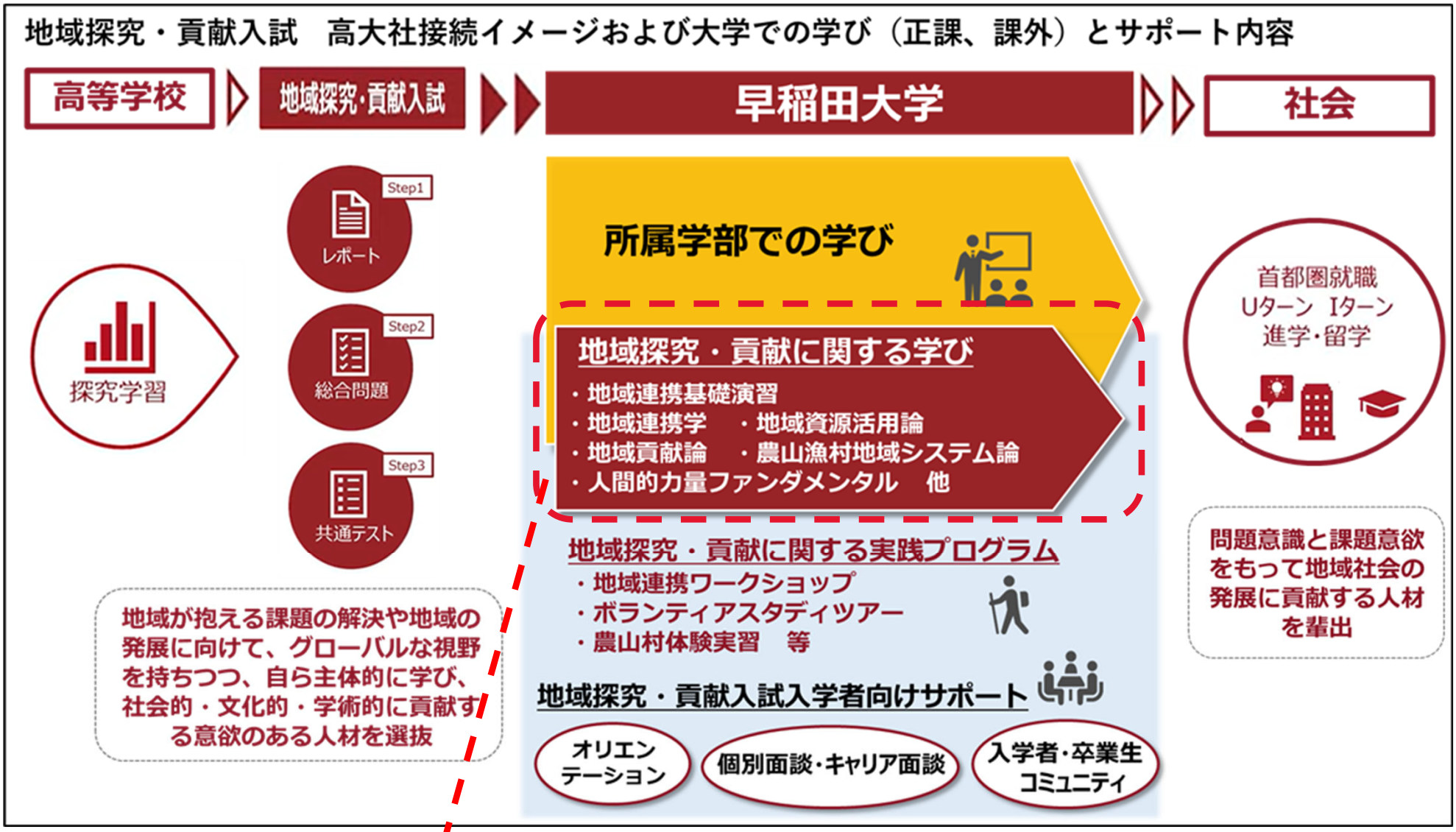
2025年7月31日
地域大学振興に関する有識者会議（第3回）

資料２－１－１

都市部の大学と地方との交流
（早稲田大学の地域連携・貢献の取組み（一例））


初代総長 大隈重信 曰く
一身一家 一国の為のみならず
進んで世界に貢献する抱負が
無ければならぬ

本学の地域連携の取組み（一例）《 概要（高校～大学～社会へ）》



2024年度より全学副専攻「地域連携・地域貢献」として体系化

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域と連携した入試制度 》

	地域探究・貢献入試 （旧名称：新思考入試（地域連携型））	地域探究・貢献入試 （北九州地域連携型推薦入試）
対象地域	全国 （レポート、総合試験、共通テスト）	北九州地域の高校 （指定校推薦入試の一形態）
学部	法学部、教育学部（※）、文化構想学部、 文学部、人間科学部、スポーツ科学部 ※一部の学科・専修・専攻	基幹理工学部 （学系2および学系3）
入学者数	各学部若干名	最大10名程度
特徴	◘ オリエンテーションを行い入学者同士のコミュニティ形成を支援、在学中も個別面談でサポート ◘ 初年次、「地域連携基礎演習」を原則必修（自動登録） ◘ 地域連携ワークショップやボランティア活動、等、正課外プログラム参加を推奨	◘ 1～3年次に東京の西早稲田キャンパスで基礎教育 ◘ 4年次からは北九州キャンパス（情報生産システム研究科”IPS”）にてIPS教員の指導のもと、卒論研究 ◘ IPSへの進学を前提

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域と連携した入試制度 》

地域探究・貢献入試（旧名称：新思考入試（地域連携型））
学生の声（在学中の面談より）

地域探究・貢献入試
その他学生の声（動画）

- 勤務地は都内だが異動の際は地元か九州を希望する。**地方の災害対策や山の上に住む高齢者の孤立を資金面で援助する仕事をしていきたい**。（商、熊本、保険業（東京））
- 地域活性化を追い続けたい。一方で農業にも興味あり。地域密着で地域住民と対話できる仕事につき、**地域住民を笑顔にしたい**。（文構、福島、公務員受験（福島））
- 法律の知識で**地域格差を是正**したい。（法、静岡、ロースクール入学）
- **地方を含む日本全国の中小・ベンチャー企業の成長を広告・DXの領域で応援**している企業に決めた。大学での学びや活動を通じ、地域課題はそれぞれの地域の”思い”を丁寧に聴き反映させることが大切だと分かった。（スポ科、三重、広告（東京））

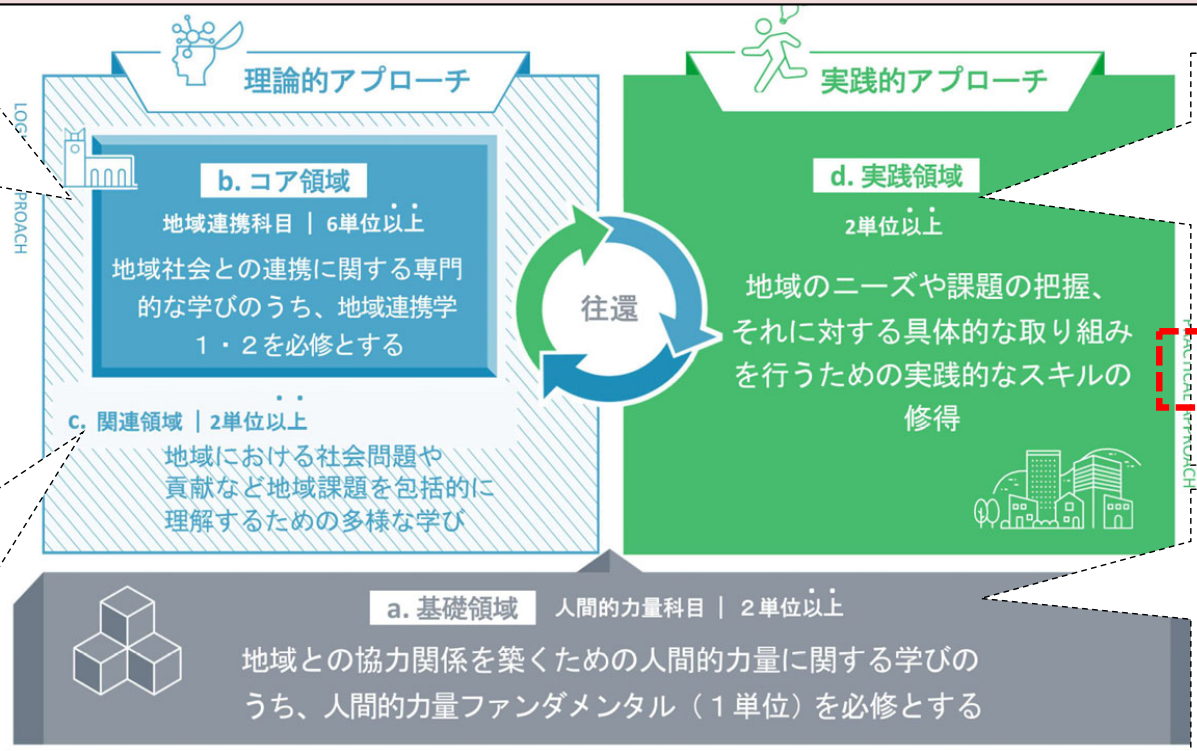
※（　）は（学部、出身地域、進路先）

本学の地域連携の取組み（一例）《 全学副専攻「地域連携・地域貢献」》

- 地域社会との連携と地域への貢献のための、体系的な学びを認定する制度（2024年度～）
- 「人間的力量」の学びとともに、理論的アプローチと実践的アプローチによる往還教育

＜b:コア領域（例）＞
- 地域連携学
- 地域貢献論
- 地域資源活用論
- 地域連携基礎演習…

＜c:関連領域（例）＞
- 公共政策
- 経済地理学
- 観光学
- ボランティア入門…



＜d:実践領域（例）＞
- 狩猟と地域おこしボランティア
- 農山村体験実習
- 東日本大震災のFW
- **地域連携ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ**
- 地域連携ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ

＜a:基礎領域（例）＞
- 人間的力量ﾌｧﾝﾀﾞﾒﾝﾀﾙ
- ダイバーシティを学ぶ
- 体験の言語化
- リーダーシップ開発

2024年10月に副専攻新設記念シンポジウムを開催（約100名）

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域連携ワークショップ 》

プログラム構成 （約2か月半） （夏／春休み）	○ オリエンテーション（自治体からの課題テーマ説明） ○ 事前調査、地域の方々へのヒアリング（オンライン） ○ 現地フィールドワーク（3泊4日） ○ 事後調査、グループワーク ○ 中間報告会、プレ報告会 ○ 最終報告会（首長）、振り返り会 学部学年を超えた 5人1組×2チーム
役割	**自治体** ✓ オリエンテーションでの課題テーマ説明 ✓ ヒアリング先（地域の方々）、現地フィールドワーク工程、宿泊先等のアレンジ ✓ 中間報告会における講評 ✓ 最終報告会のアレンジ（首長含む） **大学** ✓ 学生募集および選考 ✓ ワークショップ運営全般 ✓ 自治体に対する全面的支援 ✓ 学生に対するチームビルディングや、ディスカッションのサポート、同行等
備考	○ 現地フィールドワークにかかる滞在費（交通費・宿泊費・食費）は原則、学生負担 （自治体により一部補助有り） ○ 副専攻の2単位”相当”（卒業単位には含めない）

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域連携ワークショップ 》

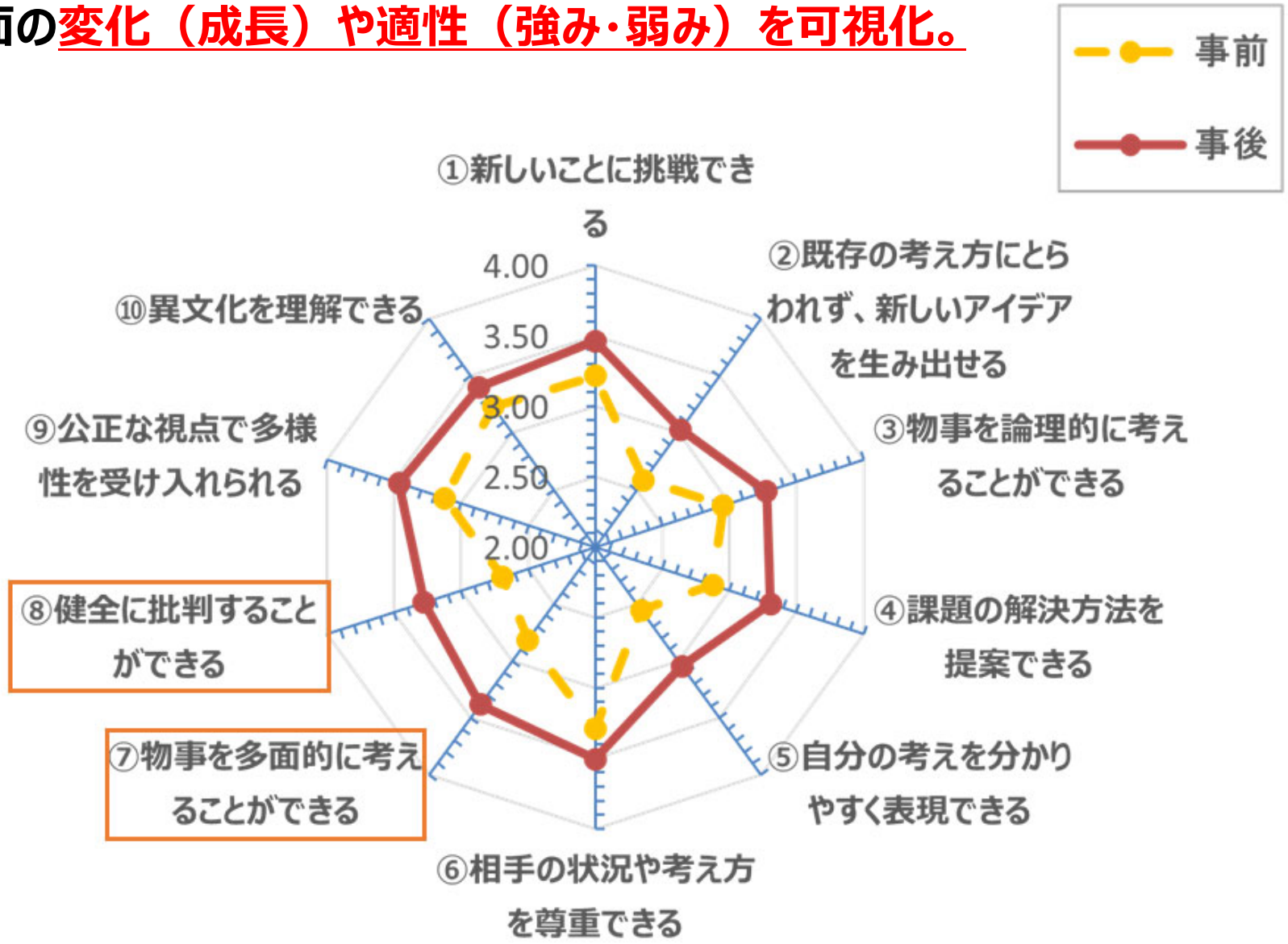
自治体名	2024年度　テーマ例	活動期間
珠洲市 （石川県）	被災地支援の現場から見える、珠洲の課題と可能性とは？　（※特別編）	7月～9月 （夏）
田野畑村 （岩手県）	田野畑中学校の授業「仮式会社Comaru 」を提案せよ！ ～子どもたちが地域に誇りと愛着を持つ村づくりをめざして～	
長浜市 （滋賀県）	大学生と地域をつなぐ持続可能な仕組みを提案しよう！ ～田根地区を訪れた大学生が継続して関わるために必要なこととは～	
木島平村 （長野県）	デジタル技術を高齢者が身近に感じて考えて生活を豊かにしよう！	1月～３月 （春）
燕市 （新潟県）	「多様な人材の活躍推進」の実現に向けて若者の定着する施策を提案せよ	
南伊豆町 （静岡県）	南伊豆町と言えば○○！　～町のイメージ戦略を企画・考えよう～	

- **これまでに50以上のワークショップを運営（延べ540名以上が参加）**

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域連携ワークショップ 》

WS実施前後で定量的な調査を実施し、ワークショップを経た

学生の内面の変化（成長）や適性（強み・弱み）を可視化。



本学の地域連携の取組み（一例）《 地域連携ワークショップ 》

地域連携ワークショップ　学生の声

- **地方創生とは何かを考えるきっかけに**なるだけでなく、実際に提案をすることで理想と現実のギャップを学び、地方創生の難しさを体感できる！（教育学部3年）
- リアルな地域課題やそれに向き合う人々に触れ、**自分たちが何ができるか強烈に考えさせられました**。（教育５年）
- 地域の課題を「自分ごと」として考えるきっかけになりました。**現場の声に触れることで、研究や将来の方向性にも新たなヒントが**得られました。（社研１年）
- **地域の実情を知り、自分たちで解決策を考えるという活動は、とても楽しかった**です。自分達の案が実際に採用されるかもしれないと思うととてもワクワクし、**と同時に、生半可なものではいけないというプレッシャーもありました。**（文２年）
- ワークショップを通じて、**地域の課題解決には住民との対話や多様な視点が欠かせない**ことを実感しました。オンライン対面構わずチームで協力しながらアイデアを形にする経験ができ、とても学びの多い時間でした。（政経2年）

本学の地域連携の取組み（一例）《 地域連携ワークショップ 》

地域連携ワークショップ　自治体の声

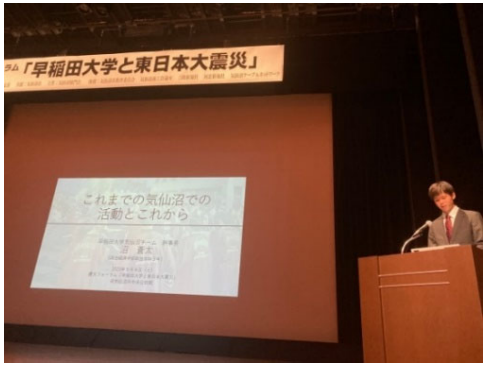
- これからも（自治体名）に**関わろうとしてくれる学生を創出できた**ことは例年以上に成果と感じています（東京で開催される（自治体名）の交流会に参加したいとの意思表示や早稲田大学でサークルの立ち上げなど）。
- 多くの学生が（自治体名）に関心を持っていただき、**中にはワークショップの延長として継続して取り組みたいと意欲的な声も聞かれた**。加えて、インタビューを行った地域の方から、「また来てほしい」「子どもたちと遊んでほしい」という声が多くあり、**地域にとっても大学生が来ることによる影響はとても大きい**ことを実感しています。
- テーマに対する提案内容はもちろん、**住民が大学生と交流するという非常に価値のある機会**を得られ、**関係人口創出**にもつながった。都会に住む若者目線で魅力を見つけ、それを発信する手法も考えていただき、大変満足。
- **導入しやすい提案で、費用の面でも自治体の実情に即していて良かった**です。内容はもちろん、取組む姿勢も素晴らしかったです。フィールドワーク中、年配の方と話している姿も良かったです。

本学の地域連携の取組み（一例）《 ボランティアを通じた地域連携 》

平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）の活動

- 学習支援、自然環境保護、障がい者支援、スポーツ、地域活性化など、**多様なボランティア活動の機会**を提供。
- 自然災害被災地での**復興支援ボランティア活動**にも積極的に取り組む。
- 校友ネットワークを活用した早稲田型の支援活動を通じて、地域連携・地域貢献とともに学生の成長を促す（**早稲田の絆による復興支援**）。

（東日本大震災　災害復興支援ボランティア活動）



（ 2023年9月、宮城県気仙沼市で開催された
震災フォーラム「早稲田大学と東日本大震災」）

（北海道「富良野スタディツアー」での活動の様子）

（山形県「西川町スタディツアー」での活動の様子）

（災害復興支援ボランティア活動の様子）

【ご参考】 その他各種リンク先

地域探究・貢献入試	https://www.waseda.jp/inst/admission/undergraduate/system/wacel/
基幹理工学部　地域探究・貢献入試（北九州地域連携型推薦入試）	https://www.waseda.jp/inst/admission/undergraduate/system/designated/
全学副専攻制度	https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/minor-2/
全学副専攻『地域連携・地域貢献』新設記念シンポジウム	https://www.waseda.jp/inst/sr/news/2024/10/23/4717/
地域連携ワークショップ（概要）	https://www.waseda.jp/inst/sr/students/region/
地域連携ワークショップ（2025年度）	https://www.waseda.jp/inst/sr/news/2025/05/30/5932/
GCCオフィス・インスタグラム	https://www.instagram.com/waseda_pbl_program
平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）	https://www.waseda.jp/inst/wavoc/